

## 第 24 回新しい資本主義実現会議 提出資料

LINE ヤフー株式会社 代表取締役会長

川邊 健太郎

現在、日本経済は極めて好調と言えます。日経平均株価も史上最高額を更新し、今年も賃上げは上昇基調、インフレは欧米ほどにはならないものの、企業のマークアップ率は上昇しています。これらの大半は、この 2 年半の間、新しい資本主義実現会議で議論、実行されてきたことです。岸田総理には、この真実をさらにもっと国民に説明してもらいたいと思います。もちろん、我々委員からも発信していくようにします。

好調な日本経済を絶好調にするための策として何か一つを選ぶならば、それは間違いなく「全産業のさらなるデジタル化と AI 化による付加価値向上」です。

私がおりますネットサービス業は、デジタル化、AI 化の塊のような産業ですが、今般の賃上げのトレンドが起きる前から、恒常的に賃上げ基調でした。GAFA を代表とする世界的な会社との競争の中で、企業間における熾烈な人材獲得を繰り広げながらも、デジタル化によるイノベーションによって、サービスの付加価値を高めつつ、賃上げ余地を稼ぎ続けてきたことにより、継続的な賃上げが可能だったのです。

いまこそデジタル化、AI 化によって、日本の全産業の付加価値を増加させ、構造的かつ継続的な賃上げ余地を生み出すべきです。

そのためにも、企業のジョブ型雇用を推進し、労働移動が当たり前の労働環境にしていきたいと思います。また、中小企業においても、デジタル化、AI 化を推進できるよう、大企業のデジタル人材の副業制度をより充実させるべきです。

ジョブ型雇用に移行しきれない人材に対しては、政府によるリスキリング補助をより活用すべきです。小耳にはさんだところでは、この補助金の未消化率が高いそうです。これは、ジョブ型に移行できていない企業では、「リスキリングしても報われない」と考える人が多いことに起因しています。政府はこのような環境を変化させながら、リスキリング人材が中小企業も含む日本企業全体のデジタル化、AI 化に貢献していくような状況に一刻も早くしていきたいと思います。

加えて、プログラミングの基礎知識さえあれば、実際のプログラミングを生成 AI に任せることができ、世界がすぐそこまで来ています。そのような状況に合わせたリスキリングプログラムと受講者の増大を一刻も早く行いましょう。